

めあて

日本の伝統芸能でもある民舞を観ること、体験することにより、興味・関心を深め伝統文化に親しもうとする心情を育てる。



民舞

対象：クラス単位・学年単位

対象

小学校全学年

中1

中2



授業の流れ（基本プラン）
1～2時限（通常の授業時間）

あいさつ（講師紹介）

実演

講話

体験

質問

発表

- ◆実演◆ うつのみやの踊り、宮まつり流し踊り、日光和楽踊り、八木節等
《生の演技を観ることで魅力を感じさせる》

- ◆講話◆ 舞踊と民舞、盆踊り、日本の踊り、西洋の踊りについて
《歴史的背景などについて話をし、身近なものであることに気づいてもらう》



- ◆体験◆ うつのみやの踊り、宮まつり流し踊り、日光和楽踊り、八木節、バンバ音頭
宇都宮音頭、宮小唄、宮の盆唄、宮ぶし、津軽手踊り、ソーラン節、金毘羅船々等
《表現することで民舞に対する関心を高める》

- ◆質問◆ 体験したことでの疑問、知りたいこと等を質問してみましょう

- ◆発表◆ 講師と一緒に踊ってみましょう

実 演



民舞とは・・・

日本の各地に古くから伝えられてきた、地方ごとの踊りです。働く民衆がその生活や労働の所作・辛さ・喜びなどを、唄や踊りに込めて作り上げてきたもので、多くは地方ごとの祭りなどで踊られています。

体 験



講 話



☆実施校からの声☆

・踊りの説明を聞いたり見たりした後に、踊りを教わり、一緒に踊るなどの体験があり、最後まで興味を持って授業に取り組むことができた。踊りの教え方も丁寧で、子どもたちが踊れるようになるまで何回も踊ってくださった。